

# 石狩管内いじめ・不登校等対策本部会議便り

平成25年3月 対策本部事務局(石狩教育局)発行

平成25年2月7日(木)北海道第2水産ビルにおいて、石狩教育局長を本部長とする「平成24年度第2回石狩管内いじめ・不登校等対策本部会議」を開催し、今年度の成果と課題及び次年度の取組の方向性について協議しましたので、その内容をお知らせします。

## 1 事務局からの報告～今年度の取組について

### (1) いじめ根絶に向けた取組

- 各学校においていじめの防止や解決に向けた取組を進めたり、児童生徒の人間関係づくりを意図的・計画的に進めたりするために、「生徒指導資料」を作成・配付した。

### (2) 子どもの人間関係づくりの推進

- 平成24年10月27日(土)に「どさんこ☆子ども全道サミット」「どさんこ☆子ども地区会議」を開催し、児童生徒が校種を越えて、いじめのない明るい学校づくりについて活発に話し合い、よりよい人間関係づくりのためのワークショップを体験した。

### (3) 情報モラルの意識啓発

- 平成24年12月11日(火)に「子どもたちをネットトラブルから守るための保護者講演会」を開催し、ネットトラブル防止に向けた、保護者の意識啓発を図った。

### (4) その他

- 全道の学校の児童会・生徒会によるいじめ根絶・仲よし宣言への署名を集め、背景として「いじめ根絶・仲よし宣言」ポスターを作成・配付すること、子どもたちの薬物乱用防止、心の健康問題の早期発見と適切な対応に努める必要があることを説明した。



## 2 交流・提案・協議

市町村教育委員会及び関係機関の各委員が今年度の取組を報告し、意見交流を行うとともに、次年度の方向性について協議しました。

### (1) 今年度の成果と課題について

#### 【関係機関等からの報告より】

- 各市町村において、「子ども会議」などのよりよい人間関係づくりに向けた児童生徒の主体的な取組が活発に行われるようになった。
- 大学生ボランティアや退職教員の活用による児童生徒の異年齢者との交流の取組が進められた。
- 市町村教育委員会が独自にネットパトロールを実施し効果が上がっている。
- 異校種間での児童生徒や教員間の交流及び出前授業等に取り組む学校が増えた。
- 中学校の入学説明会に、携帯電話やパソコンのフィルタリング設定等情報モラルに関わる内容が取り入れられるようになった。
- 児童生徒のコミュニケーションスキルの向上を図る教員の指導力向上の研修が必要である。
- 各学校における「ほっと」活用に向けて研修会等で普及・啓発を図る必要がある。

### (2) 次年度の方向性について

#### 【主な提案】

- 各学校におけるいじめの未然防止の取組や、早期発見・早期対応に向けたアンケート調査の定期的な実施や組織的な対応が行われている。しかし一方では、いじめで苦しんでいる児童生徒が少なからずいることから、いじめの未然防止に重点を置き、児童生徒の人間関係形成能力を育成する取組の充実を図る必要がある。
- ネットトラブルの未然防止に向けて、各市町村教育委員会や各学校におけるネットパトロールの実施や、保護者への意識啓発の取組が行われている。しかし、依然として個人情報公開などが増加傾向にあることから、各学校においてネットパトロールの一層の充実を図るとともに情報モラルの意識向上に向けた取組の推進を図る必要がある。

次年度の「Heart to Heart(心と心のつながり)プロジェクト」では、今年度の成果と課題を踏まえ、次の2つを重点として設定しました。平成25年度当初に、第1回会議で各市町村教育委員会や各学校、関係機関における取組内容を取りまとめ共有し、第2回会議では取組の成果と課題について交流することとしました。

### 1 いじめや不登校の問題の未然防止

～子どものコミュニケーション能力の向上に向けた取組の充実

### 2 ネットトラブルの未然防止

～フィルタリングの設定や不適切な書き込みの未然防止の徹底

